



2024年11月11日

各位

会社名 株式会社電算システムホールディングス
代表者名 代表取締役社長 小林 領司
(コード番号 4072、東証プライム、名証プレミア)
問合せ先 取締役経営企画室長 柳原 一元
(TEL. 058-279-3456)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年2月9日に公表いたしました2024年12月期通期（2024年1月1日～2024年12月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2024年12月期通期連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	65,700	4,100	4,120	2,790	262.22
今回修正予想（B）	61,200	2,300	2,470	1,410	130.62
増減額（B－A）	△4,500	△1,800	△1,650	△1,380	－
増減率（％）	△6.8	△43.9	△40.0	△49.5	－
（ご参考） 前期実績 2023年12月通期	59,591	3,964	4,018	2,004	187.71

2. 修正理由について

売上高につきましては、情報サービスセグメントにおいて、新規案件の獲得が当初想定より難航したことや一部大型案件の開発が遅延したことにより、当初計画を下回る見込みとなりました。また、収納代行サービスセグメントにおいては、事業ポートフォリオの見直しによる減少や、一部の既存顧客での取扱い件数の減少、新規顧客の稼働が当初想定より遅延したことなどにより、当初計画を下回る見込みとなりました。

一方、営業利益および経常利益につきましては、情報サービスセグメントにおいて、仕入れ原価や人件費などの増加や、前期に発生したソフト開発プロジェクトの不採算案件で、更なる工数の見直しが必要となり、受注損失引当金が増加したことにより、当初計画を下回る見込みとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、一部の連結子会社の業績が計画を下回って推移している

ことから、株式取得時に見込んでいた収益が見込めなくなり、のれん等の減損損失が発生しました。加えて、当社グループが保有する投資有価証券の一部について、実質価額が著しく下落したため、投資有価証券評価損を特別損失として計上することとなり、上記のように修正いたします。

なお、配当予想に変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表現在に入手可能な資料を基に作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上